

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

R7 年度分

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数は適切であるか	○			基準に基づいて配置
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		現在、車椅子等を使用している児童の利用はない。今後、利用がある場合は環境等の改善をする必要がある。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			日々のミーティングで振り返りを行っている。支援シートに記録することで児童の成長や新たな課題を職員間で共有している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年に1回実施している
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部の研修には努力参加している。また定期的に制度やサービス、支援方法について事業所内研修を行っている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個々の特性に応じて児童と1対1で振り返る時間を設け、保護者の意見も踏まえて課題を整理し計画を立てている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			半年毎にモニタリングを行っている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			事前に打ち合わせを行い、改善点や安全面の配慮等、スタッフ間で意見を出し合い行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			運動プログラムは利用児童の特性に応じて変更。様々な用具を使用し児童の興味関心を引き出す支援を行っている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			運動プログラムを中心に療育を行っている。土曜日や長期休暇時は外部施設への外出やクッキング等も行っている。公共交通機関を使用する外出では

					事前に児童達で予定作成をするなど社会性を育てている。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			集団活動では、学年の差別化を図り、高学年に対してはより主体性が育まれる内容を考えている。また、SSTを取り入れ対人援助スキルや生活スキルの向上を目指し、活動内容によっては個別対応を行っている。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日必ずミーティングを行っている。児童の様子は当日だけでなく、数日前からの行動や情報を共有し、役割分担を行っている。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			翌日に前日の振り返りや申し送りを行い必ず共有している。申し送りシートを活用し、休みの職員でも前日等の様子が確認できるようにしている。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個々に応じた支援シートに日々記録を残している。支援の改善や会議等でも活用している。

	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			送迎時に学校の先生と情報共有をしたり、学校からの便りを確認している。トラブル発生時はその都度学校、保護者に連絡し対応している。
関係機関や保護	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		医療的ケア児の受け入れなし。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			必要に応じて、情報提供や会議を行っている。

者との連携	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		必要に応じて行っている。
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	現在交流は行っていないが、部会を通して参加する機会があれば検討する。
	②⑦	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか		○	
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		保護者の迎え時には必ず情報共有を行っている。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		保護者と日々のやりとりを重ね、相談等がある場合には、別日に時間を設ける等して対応している。
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		活動を通して保護者同士の交流の機会を年に数回設けている。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月、通信を発行している。保護者には行事や活動内容が入ったお便りを事前に配布し、児童には自分で予定を把握できるようにしている。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○		
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		集団活動等の行事を通して触れ合える機会を持てるよう行事を企画している。
非常時	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		保護者には契約時にお伝えし、年度毎に変更がないか確認していただいている。定期的に職員間でマニュアルの見直しをしている。

等 の 対 応	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難訓練を年に最低2回は行っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待研修に参加したり、施設内研修を行う中で、職員同士の情報共有を密に行っている。又、子どもの状態の変化や保護者の態度等の観察に努めている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			契約時、保護者へお伝えしている。個別支援計画書にも文言を記載している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			医者の診断書のコピーを取り、緊急対応時の方法を定めている。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			